

講義名	英語精読(GSP・上級)			授業形態	
担当教員	藤岡 千伊奈	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

#### 主題と概要

社会ではグローバルな環境で即戦力として活躍できる人材が求められています。そのため、英語力と異文化知識を身に付けることが不可欠です。このコースでは、好評のノンフィクションのテキストを用いて、中級レベル以上のリーディング力を獲得することを目指します。授業は精読なので、細かいところまで深く読み、リーディング問題を解いて、内容理解をしていきます。また、リーディングのトピックに関して、ペア及びクラス全体でできるだけ英語で意見交換し、ディスカッションにも力を入れていきます。授業は自覚通りでなく、特に興味深いユニットを厳選して読んでいきます。また、授業外で、每週additional readingも積極的に行ってもらい、できるだけ沢山読んで自分のリーディング力を高めていきます。授業は、講義ではなく、学生による授業参加型の授業なので積極的に授業に挑むように、皆さんの前向きな姿勢・努力は成績に反映されます。

#### 到達目標

1. 総合的なリーディング・スキル(スキミング等も含め)を習得できるようになる。
2. リーディングを通じて、文法・語彙・熟語力を高めることができるようになる。
3. リーディングを通じて、グローバルな視点から異文化知識を高めることができるようになる。
4. リーディングのトピックに関して、英語で意見交換・ディスカッションできるようになる。

#### 提出課題

主に各ユニットが終了するたびに課題が出ます。その他の課題もあります。

#### 課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

提出課題に直接コメントを書いてフィードバックします。また、クイズに関しては、授業内で解説します。

#### 評価の基準

- 1) 授業参加度・授業姿勢 20%
- 2) 小テスト 20%
- 3) 課題(学期末のブックレポート・口頭発表を含む) 30%
- 4) 学期末試験 30%

\*5回休んだ時(途中退室も含め)、自動的に不可が決定し、学期末試験は受けられない。

#### 履修にあたっての注意・助言他

1. このクラスは、長文の英文を読んで理解できない学生には勧めません。
2. 第1回目の授業で、重要な詳細を説明するので、必ず出席するように。
3. 授業中、遅刻・欠席・退席を解する学生は、その日、「欠席」となるので注意すること。
4. 新しい教科書を購入してください(古本不可)。
5. キャンパスカードを常にチェックするように。

#### 教科書

.Reading Advantage 2 3rd Edition .	Casey Malarcher	センゲージ出版	9789814336543
------------------------------------	-----------------	---------	---------------

#### 参考図書

.なし.				

#### その他

必要に応じて授業中に指示する。

#### 授業計画

- 回 授業計画
- 1 Course Guidance
  - 2 Unit 1 Helping Others 1
  - 3 Unit 1 Helping Others 2
  - 4 Unit 3 Movie Directors 1
  - 5 Unit 3 Movie Directors 2
  - 6 Unit 4 Coffee Culture 1
  - 7 Unit 4 Coffee Culture 2
  - 8 Unit 10 The Nobel Prize 1
  - 9 Unit 10 The Nobel Prize 2
  - 10 Unit 11 A Funny Cure 1
  - 11 Unit 11 A Funny Cure 2
  - 12 Unit 12 Palm Reading 1
  - 13 Unit 12 Palm Reading 2
  - 14 Unit 17 Happy New Year!/Presentations (if needed)
  - 15 Presentations

\* 授業の進捗状況により、授業計画が変更する可能性があります。テキスト以外のリーディング教材を使用することもあります。

#### 授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ: グループワーク
<input type="radio"/> オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

#### 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習: 毎回テキストに目を通し、分からない単語を調べ、音声を聞く、図書館の多読図書を選んで読む。 2時間  
 復習: テキストの音読、字んだ内容を再確認、重要語彙の書写、ブックレポート・課題を行う。 2時間

#### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは、グローバル社会の様々なトピックを扱うノンフィクション教材を用いて異文化知識・英語の読解力及びリーディング力の向上を図ることににより、卒業時に身に付けておくべきグローバル社会が必要とされる読解・コミュニケーション能力の育成を目指す。これらの能力は、留学生に求められる「各専攻の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「経済にまつわる情報分析の力」、人間社会学部生に求められる「社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理等」の様々なテーマに取り組み、コミュニケーション能力の修得につながる。

#### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業の実施については、提出したレポート・課題に対して講評する。質問を含め直接コメントする。

#### 実務経験の有無及び活用

#### 備考